

イエス・キリストによって得られる希望

完全な者となるためにイエス・キリストの助けが必要なのはなぜでしょうか。

七十人定員会のJ・デビン・コーニッシュ長老は、次のように話しています。



「会員はしばしばこう言います。『わたしは人として十分に善良だろうか。』『わたしはほんとうに日の栄えの王国に行くことなどできるだろうか。』まず『十分に善良』な人など存在しません。自分の力で救いを『勝ち取り』、救いを『受けるに値する』人などそもそもいません。しかし、自分が主の前に受け入れられるかどうか心配になるのは理解できます。……

率直で誤解のないようにお話しします。『わたしは十分に善良だろうか』『わたしにできるだろうか』という疑問への答えはこうです。『はい！あなたは悔い改め続け、正当化したり反抗したりしなければ、いつか必ず、十分な善良さを得ることができます。』天の神は、わたしたちを試合から退場させる口実を探している冷酷な審判ではありません。神は、御自分の子供たち全員がみもとに帰って来て、家族として永遠に神とともに住むことをほかの何よりも望んでおられる、完璧な愛にあふれた御父です。神は、わたしたちが滅びるのではなく、永遠の命を得られるよう、その独り子を与えてくださったのです！この永遠の真理を信じてください。そして、そこから希望と慰めを得てください。天の御父は、わたしたちにそれができることを前提として考えておられます。それが御父の業であり栄光なのです。」（J・デビン・コーニッシュ「『わたしは十分に善良でしょうか』『わたしにできるでしょうか』」『リアホナ』2016年11月号, 32-33）

「イエスを通じて完全な者とされ〔る〕」ために、何ができるか

中央若い女性会長会であったキャロル・F・マッコンキー姉妹は、次のように教えています。



「聖になりたいというわたしたちの願いはすべて、キリストとその憐れみと恵みにかかっています。イエス・キリストとその贖罪を信じる信仰があれば、わたしたちは、神の御心に添わないものを拒み、心から悔い改めることによって、染みのない清い者になることができます〔モロナイ10：32-33参照〕。わたしたちは罪の赦しのために水によるバプテスマを受けます。わたしたちの霊は、心を開いた状態で聖霊を受けるときに聖められます。毎週、わたしたちは聖餐の儀式を受けます。悔い改めの精神で、心から義を望みつつ、わたしたちは進んでキリストの御名を受け、主を忘れず、戒めを守ると聖約します。そうすることで、いつも主の御霊を受けられるからです。やがて、御父と御子と聖霊と一つになる努力を続けるうちに、御三方の特質を受け継ぐ者となるのです〔2ペテロ1：4参照〕。」（キャロル・F・マッコンキー「聖なる装い」『リアホナ』2017年5月号, 10）

十二使徒定員会のデール・G・レンランド長老は、次のように教えています。



「神はわたしたちがかつてどのような人物であったかということよりも、現在どのような人物で、どのような人物になろうとしているかに大きな関心を持っておられるということです。神はわたしたちが努力し続けるかどうかに関心を持っておられるのです。」（デール・G・レンランド「末日聖徒は努力し続ける民です」『リアホナ』2015年5月号, 56-57）